

2024 年度 進路先企業対象アンケート結果及び課題について

本学卒業生が在籍している企業・団体等に対して、本学を客観的に評価いただき、教育に関するさらなる改善及び教育の質保証の推進に役立てることを目的として、本学卒業生の印象、本学に求めるものなどについてアンケートを実施した。

アンケート結果（別紙）と分析及び課題について報告する。

1. アンケート実施概要

対象：就職支援システム（キャリアタス UC）に登録している約 4,000 社

実施方法：オンライン（Qualtrics）による実施

設問内容：別紙 1 のとおり

回答期間：2024 年 8 月 26 日～9 月 6 日

回答者数：231 社（232 名）

回答企業規模 ※規模は従業員数で確認

大企業（500 名以上）：160 社、中小企業（50 名～500 名未満）：66 社、

小規模企業（50 名未満）：5 社

2. アンケート結果

別紙 1 のとおり

3. アンケート結果分析

（1）大卒新卒者採用時に重視する項目・本学卒業生に備わっている項目・備わっていない項目について【Q1～Q6】

- ・「コミュニケーション能力」、「意欲・積極性」、「自ら課題を発見し、解決する能力」は、企業が大卒新卒者に特に求めている能力であることが見て取れる。その中でも特に重視する能力は「コミュニケーション能力」（39.2%）であるが、本学卒業生に特に備わっていると感じる能力として「コミュニケーション能力」と回答した企業は 10.3%に留まり、コミュニケーション能力を育成する取り組みが重要であると考えられる。
- ・本学卒業生に特に備わっていると感じる項目としては、「基礎的な知識・技術」（21.1%）、「自ら課題を発見し、解決する能力」（19.8%）、「論理的・批判的な思考力」（19.8%）の順となり、日々の授業や研究活動において身につけたこれらの素養が企業からも評価されていると考えられる。
- ・本学卒業生に特に足りないと感じる項目としては、「異文化理解・国際性」（35.3%）が最も多く、次いで「意欲・積極性」（15.9%）となった。「異文化理解・国際性」を身につけるための有効な取り組みとして、卒業生アンケートで挙げられている「英語教育」「留学」の取組をより充実させることが有効と考えられる。

（2）数理・データサイエンス・AI の知識について【Q7】

- ・本学を卒業した新入社員に求める数理・データサイエンス・AI の知識のレベルについて、「Level1：数理・データサイエンス・AI に関心があり、適切に理解・活用するための基礎を有している（全ての学生が身に付けておくべき基礎的な知識レベル）」（42.4%）が最も多かった。また、「Level2：数理・データサイエンス・AI の知識を活用し、課題を解決するための実

実践的な基礎能力を有している」(30.7%)と合わせて約70%の企業が数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識を身につけていることを求めていることが窺える。さらに、Level3、Level4の「専門的な能力・知識・技術等を有している」を含めると85%以上の企業がデータサイエンスに関わる能力等を身につけていることを求めている。

(3) 博士後期課程学生の採用関連について【Q8～Q12】

- ・新卒者採用において、直近5年間(2020年4月～2024年4月)で博士後期課程修了者の採用実績は、「採用実績がない」割合が高く、74.5%だった。
- ・Q9では、全企業(博士後期課程修了者を新卒で採用していない企業を含む)を回答対象としており、「専門的な知識・技術」、「自ら課題を発見し、解決する能力」、「論理的・批判的な思考力」を博士後期課程修了者に特に求めている能力であることが見て取れる。しかし、Q11では、博士後期課程修了者を新卒で採用している企業が、博士後期課程修了者に足りていないと感じる能力について、「柔軟性」、「コミュニケーション能力」「意欲・積極性」と答える企業が多く、採用前に期待する能力については一定程度満たされていることがわかる。一方、期待する能力としては上位となっていない能力について、採用後において博士後期課程学生に不足していると感じていることが窺える。
- ・博士後期課程修了者を新卒で採用する場合の待遇や枠組みについて、「特に決めてはいない/個別の事案により判断している。」(39.2%)と回答する企業が多い一方で、「修士課程修了者とは異なる博士課程修了者としての待遇を設定して採用している。」(26.3%)と回答する割合も多くなっている。

4. 課題

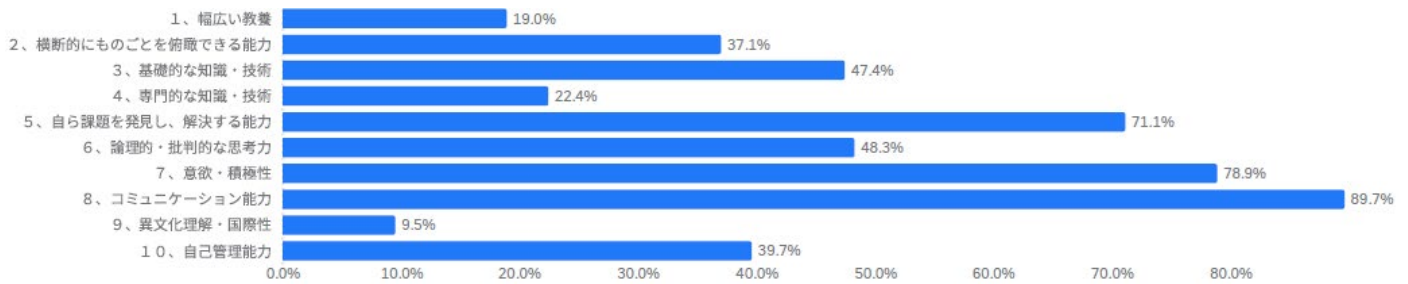
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・「異文化理解・国際性」を身につけるための取組の実施

以上

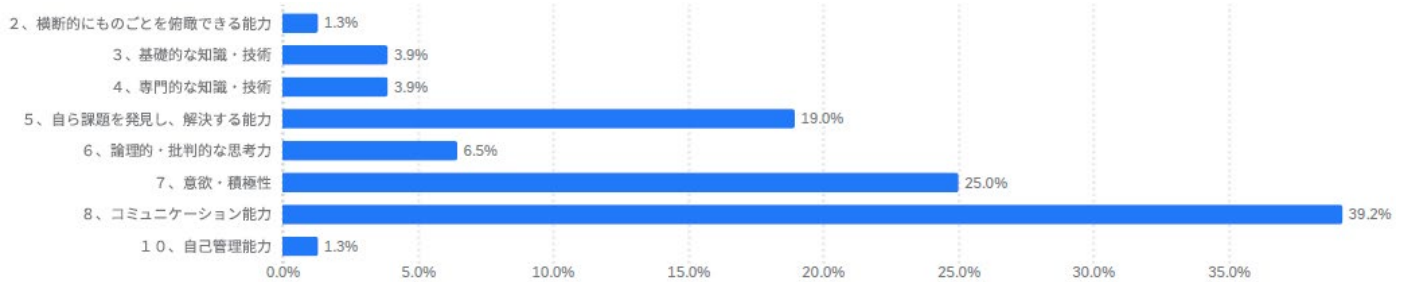
アンケート集計結果

(別紙1)

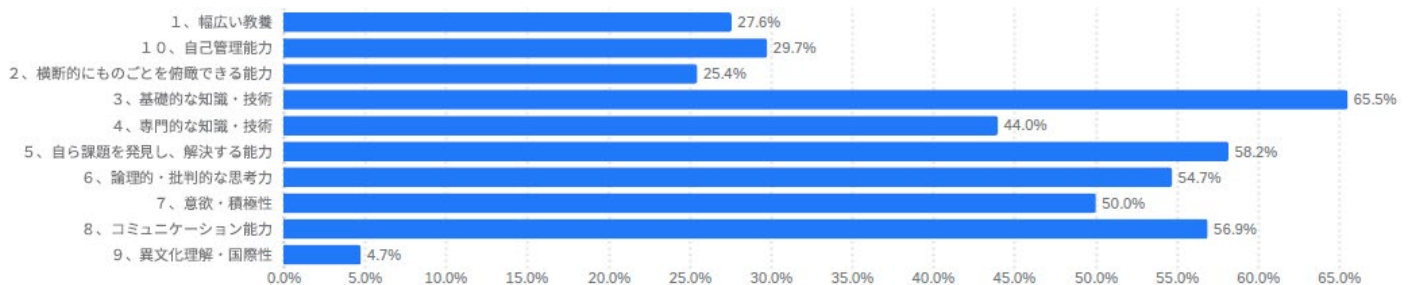
Q1 以下の項目のうち、大卒新卒者採用において重視する項目をご選択ください。(複数選可)



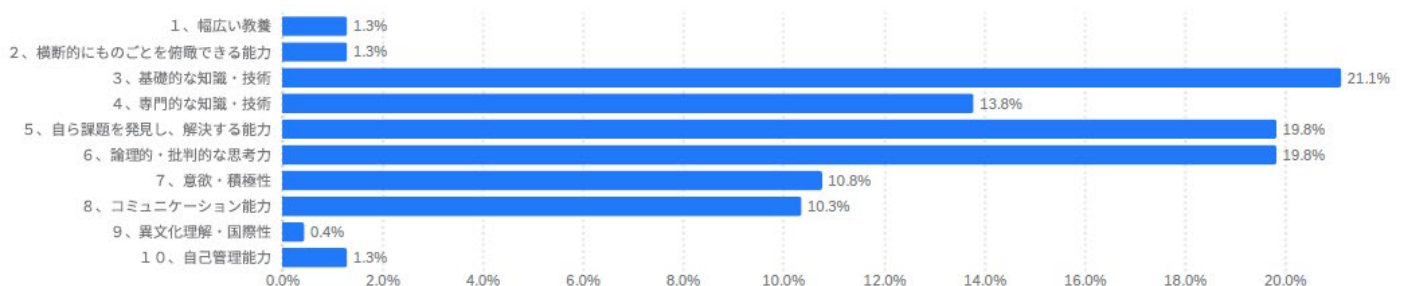
Q2 Q1に関連し、大学新卒者採用において特に重視する項目を1つご選択ください。



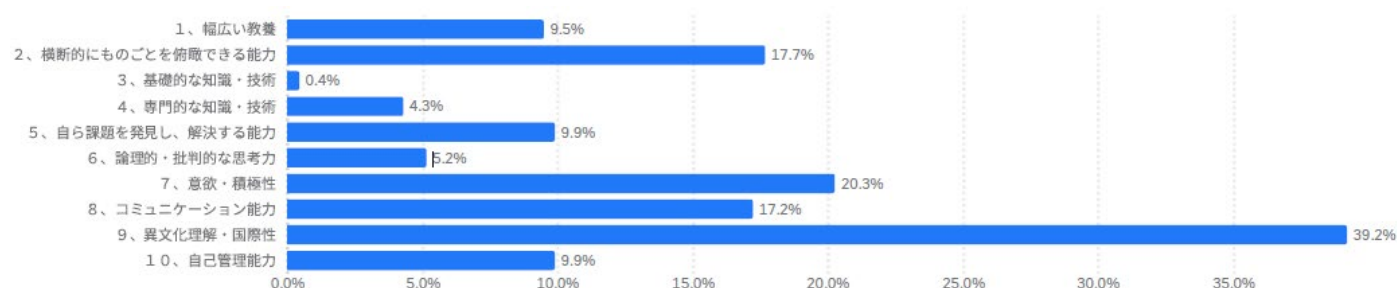
Q3 貴社に在籍している本学卒業生について、以下の能力のうち、備わっていると感じる項目をご選択ください。(複数選択可)



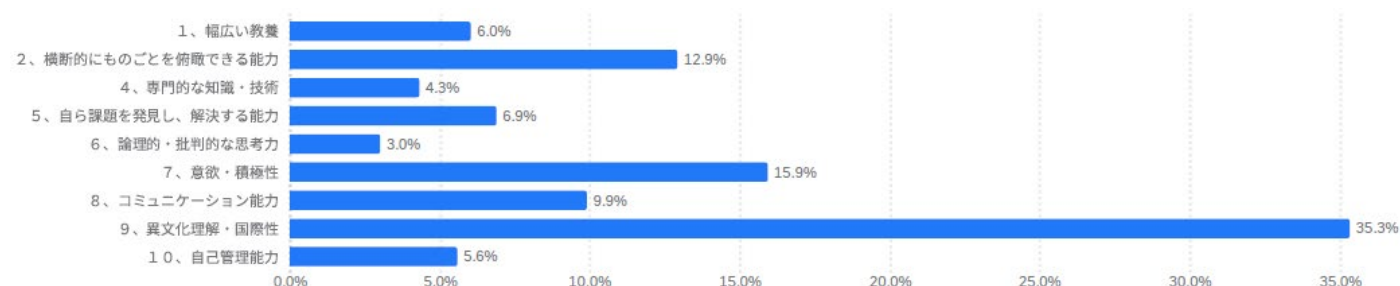
Q4 Q3に関連し、貴社に在籍している本学卒業生について、以下の能力のうち、特に備わっていると感じる項目を1つご選択ください。



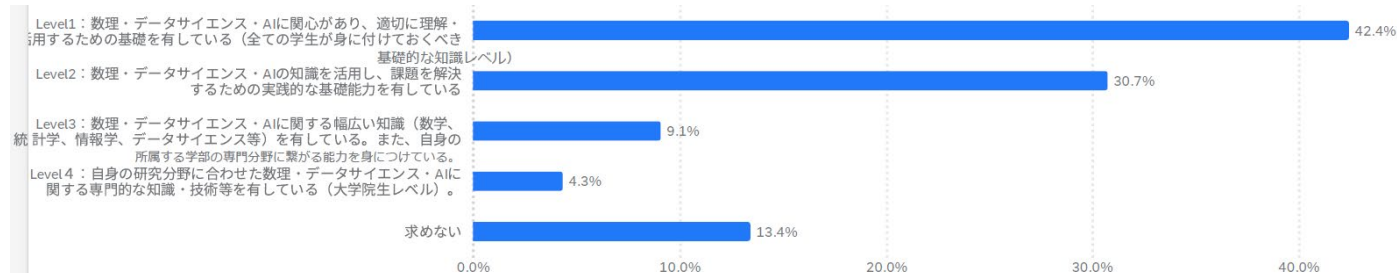
Q5 貴社に在籍している本学卒業生について、以下の能力のうち、足りないと感じる項目をご選択ください。（複数選択可）



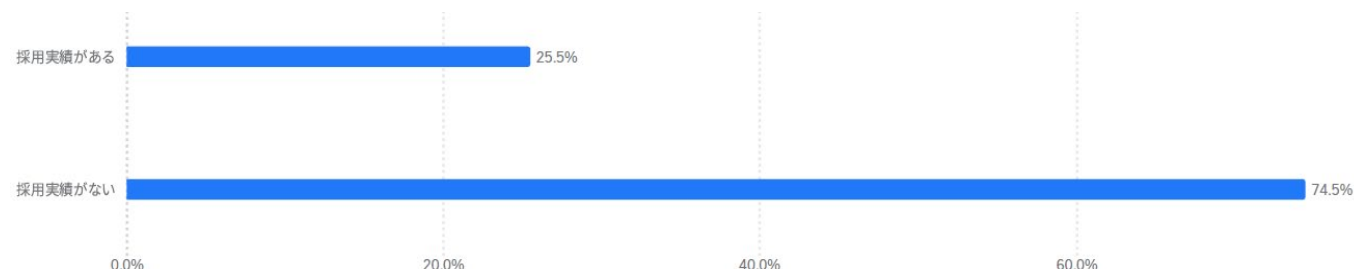
Q6 Q5に関連し、貴社に在籍している本学卒業生について、以下の能力のうち、特に足りないと感じる項目を1つご選択ください。



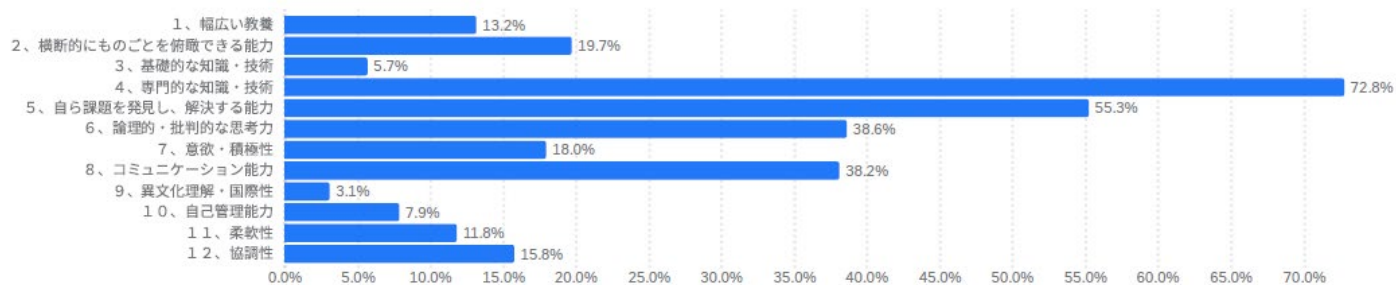
Q7 本学では、学生の所属にかかわらず、自身のレベル等に合わせて、学部から大学院まで一貫して数理・データサイエンス等の知識・技能を学べるデータサイエンス教育プログラムを実施しています。昨今、データから価値ある情報を生み出すデータサイエンスが注目されておりますが、本学を卒業した新入社員に対して、貴社では、数理・データサイエンス・AIの知識について、どのレベルを求めますか。



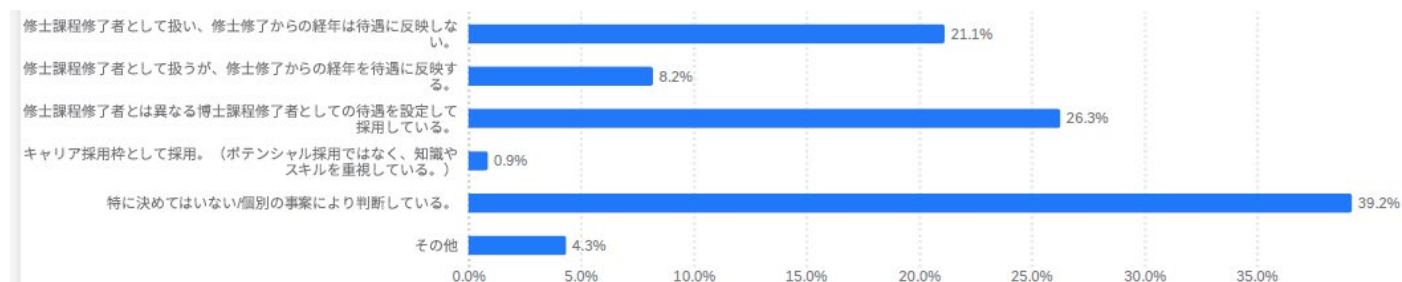
Q8 貴社の新卒者採用において、直近5年間（2020年4月～2024年4月）で博士後期課程修了者の採用実績はありますか。



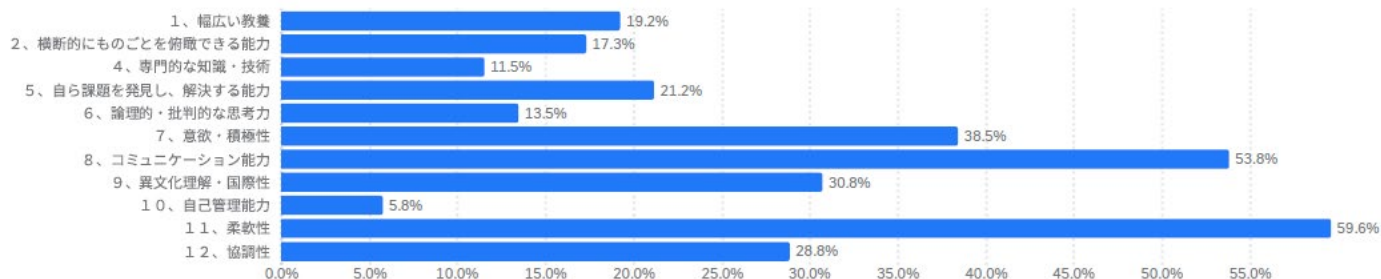
Q9 博士後期課程修了者に期待する能力について、上位3つをご選択ください。



Q10 博士後期課程修了者を新卒で採用する場合の待遇や枠組みについて、以下の選択肢から、貴社の採用方針に当てはまるものをご選択ください。



Q11 （博士後期課程修了者を新卒で採用している場合、）博士後期課程修了者に足りていないと感じる能力について、上位3つをご選択ください。博士後期課程修了者に期待する能力について、上位3つをご選択ください。



Q12 博士後期課程修了者の採用方針がありましたらご入力ください。（自由回答） ※抜粋

- ・特に、学歴を意識した採用活動は行っておりません。
- ・入社後1年間にわたり集合教育がありますが学部卒、修士卒と同内容となります。
- ・博士向け長期有給インターンも実施しております。
- ・採用要件に合わせて積極的に採用していきたいと考えております
- ・求める人物像に当てはまっていれば採用をさせていただいております。
- ・博士後期課程修了者の採用について、具体的な処遇、入社後の教育研修とキャリアパスについての検討に着手しています。
- ・研究内容が仕事に直結するとは限りませんが、博士後期課程修了者の採用も積極的に行っております。
- ・新卒採用では、専門スキルよりも当社の企業理念への共感やその後の成長性を重視しており、博士後期課程修了者に対しての採用方針としても同様に考えています。
- ・専門性を考慮し、ある程度配属部署を意識した採用を実施することになります

- ・ 研究職での採用を前提として、各研究所紐づけで採用活動を実施している。
- ・ 院卒（博士課程修了者含む）には学部卒以上にコミュニケーション能力、積極性を求めています。（早期に活躍してもらうため）
- ・ 後輩の指導・育成や職場でのパイプ役も期待。
- ・ 弊社が進学塾運営をしており専門知識をお持ちであるか非常に重視しております。その上で小、中、高生対象にわかりやすく伝えることが出来る人材かどうか評価しております。
- ・ 博士後期課程で習得した技能等により事例ごとに個別判断をおこなう。
- ・ 専攻を絞って採用活動は行っています。
- ・ 専門領域がある程度マッチしていること。
- ・ 当社の事業領域と合致する専門分野を研究している方を歓迎